SW-CPUSVA

最初に ご確認 ください。 内容 切替器本体
--

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。 最新の情報は、当社Web(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。 本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目 次

- 1 内容物の確認 ・梱包品の確認 ・オプションについて
 - 特長
- 2 仕様
- 3 各部の名称と働き
- 5 パソコンの接続 ・接続の前に ・1台で使用する場合 ・カスケード接続(2段階)する場合 ・カスケード接続(3段階)する場合 ・ホットプラグについて ・電源のオン/オフについて
- 11 パソコン(CPUポート)の切り換え方 ・ポートID番号について ・手動での切り換え ・ホットキーでの切り換え ・OSDでの切り換え
- 13
 OSDでの切り換え

 ·OSDメインメニュー画面の表示
 ·OSDでの基本操作
 ·[F1]GOTO
 ·[F2]SCAN
 ·[F3]LIST
 ·[F4]QV
 ·[F5]EDIT
 ·[F6]SET
 ·OSD用のパスワード
- 20 本体の積み重ねやラックへの取り付け ・積み重ねについて ・ラックの取り付けについて
- 21 付録

 SW-CPUSV4とパソコンの接続表
 ホットキー一覧表
- 22 Q&A・トラブルシューティング
- 23 保証規定



はじめに...

この度はCPU自動切替器SW-CPUSV4(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとう ございます。

本製品は、1組のキーボード・マウス・モニタで4台のPCを切り替えて使用するための切替器です。 本マニュアルは、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意等について説明す るものです。なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

内容物の確認

同梱品の確認

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が同梱されている場合があります)。お買 い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセ ンターまでご連絡ください。

SW-CPUSV4切替器本体 1台 ACアダプター 1個 ラックマウント取り付け金具 2個 取扱説明書(本紙) 1冊

オプションについて

本製品とパソコンの接続には専用の接続ケーブルをご使用ください(別途ご購入ください)。

SW-KB180 長さ1.8mの切替器 - パソコン間接続用ケーブルです。 SW-KB300 長さ3mの切替器 - パソコン間接続用ケーブルです。

特長

一つのキーボード・マウス・モニタで4台のDOS/V機を切り替えて使用できます。 接続されたパソコンの電源を入れたまま、コンソールの切替が可能です。

キーボードポート・マウスポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切り替えなくても完全起動が可能です。

接続された4台のパソコンを同時に起動することが可能です。

ソフトウェアのインストールが不要で、接続するだけで切り替えて使用することができます。 3段階までカスケード接続でき、最大64台までのパソコンをコントロールできます。

OSD(オンスクリーンディスプレイ)・ホットキー・プッシュボタン、3通りでの切替が可能。

オートスキャン機能搭載で、接続されたパソコンを自動で切り替えて各パソコンを監視することが可能。 ホットプラグに対応。パソコンの追加・取り外し時に切替器の電源を切る必要がないので、メンテナンス が簡単。

19インチマウントラックに取り付け可能。取付金具も付属。 高解像度1920×1440ドットまで表示可能。

仕様

対応パソコン	DOS/V機(PS/2マウスコネクタ・PS/2キーボードコネクタ・HD(3WAY)15pinディスプレイコネク				
	<u> タを持つ機種)のデスクトップパソコン ノートパソコンには対応しておりません。</u>				
対応キーホード	PS/2キーボード(ミニDIN6pinコネクタ)				
対応マウス	PS/2マウス(ミニDIN6pinコネクタ) Microsoft Intellimouse対応				
	HD(3WAY)15pinのコネクタを持つマルチスキャンディスプレイ				
	解像度1920×1440ドットまで。				
対応モニタ	液晶モニタをご使用になる場合は、PC側の設定でリフレッシュレート(走査周波数)を表示可能な				
	値に設定しておいてください。変更方法は各モニタの取扱説明書をご参照ください。				
	Windows XP Home Edition / Professional				
	Windows 2000 Professional / Server / Advanced Server				
対応のS	Windows NT4.0 Workstation / Server				
	Windows Me•98SE•98•95•3.1				
	MS-DOS、Linux(RedHat 8.0動作確認)				
	ダイレクト接続時:4台				
最大パソコン接続数 カスケード接続時:64台					
	電子式制御				
	本体セレクトスイッチ				
切 替 方 式	ホットキー切替(【Ctrl】【Alt】【Shift】【選択ポート番号】【Enter】)				
	オートスキャン(【Ctrl】【Alt】【Shift】+【0】【Enter】)				
	OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)切替				
	パソコン用				
	ディスプレイ: HD(3WAY)15pin(オス)×4				
	$PS/2 = -\pi - F : S = DIN6pin(XX) x4$				
	$PS/2 \nabla \nabla X = DIN6pin(XX) \times 4$				
インターフェース					
	ディスプレイ・HD(3WAY)15nin(メス)×1				
	$PS/2 = -\vec{x} - \vec{k} \cdot \vec{s} = DIN6 nin(\sqrt{3} x) \times 1$				
	$PS/2 \forall dz \cdot z = DIN6pin(\forall z) v 1$				
	ACアダプタ田 DC-IN×1				
ステータスIFD					
$ \land j = j \land c c U UN LINE(練) X 4 個 ハンコン作動時気気) c c c c c c c c c c c c c c c c c c $					
取得承额					
<u> </u>	DC9V:1 08W(最大)				
<u>电 冰 证 禄</u> 動作時温度/湿度	$0 \sim 40$ ℃/80%以下(結電なきこと)				
<u>勤作时温度/湿度</u> 保管時温度/湿度	- 20~60 ℃/95%以下(結露なきこと)				
	W483xD150xH44 5mm				
	2 600g(木休のみ)				
<u>里_</u>	CPII/加替器本体×1				
	_ C. Z. J. B. B. F. F. K. L.				
付 属 品	」 ೧೮ノブブブスコ ^{III} ラックマウント取り付け全目(FMI相均進物の 10インチサー バラックに取り付け可				
	フラフィラフト 私り1010 金兵(LINIA111年)2001 91 フラリーハラックに取り1010 円形 町切道旧書(保証書付き)v1				
	本製品には接続用のケーフルは同梱されておりません。接続には別途専用ケーフルが必要になります。				

・SW-KB180(CPU自動切替器接続用ケーブル 1.8m)
 ・SW-KB300(CPU自動切替器接続用ケーブル 3m)

・SW-KB300(CPU自動切替器接続用ケーブル 3m)



本製品の電源が入っている状態では、接続されているモニターの省電力機能が動作しな い場合があります。

注意

/!`

各部の名称と働き



図1.1 SW-CPUSV4正面図

ポート用LED

- 上のLED(緑):接続されているパソコンの電源がオンの場合に点灯します。ポートがカスケード接続 で他のSW-CPUSV4に接続されている場合には、点滅します。
- 下のLED(赤):そのポートが現在選択されていることを示します。ポートがオートスキャンモードの場合には、点滅します。

ポート切り替えボタン

ポートに接続されているパソコンを切り替えるためのボタンです。

ポートを選択する場合は1~4のいずれかのボタンを押します。 1と2のボタンを同時に押すと、キーボードとマウスがリセットされます。 3と4のボタンを同時に押すと、オートスキャンモードが開始されます。

リセットボタン

ウォームブートリセットをする場合に押します。3秒以上押し続けるとコールドブートリセットされます。リ セットボタンを押す場合は、クリップなどのような先の細いものを使用してください。

ブザー

ブザー音を発します。

パワーLED SW-CPUSV4の電源がオンのときに点灯します。

各部の名称と働き(続き)



図1.2 SW-CPUSV4背面図

電源コネクタ

ACアダプタのプラグを差し込みます。SW-CPUSV4は接続されたパソコンから電源が供給されますが、 カスケード接続をする場合やパソコンからの電源供給が不安定な場合は、付属のACアダプタを使用し てください。

コンソールポート

指定されたコネクタに、モニタ・キーボード・マウス、それぞれのケーブルを接続します。カスケード接続の場合は、上段階にあるCPUポートからのCPU自動切替器接続用ケーブルを接続します。

CPUポート

1~4の各ポートと使用するパソコンとをCPU自動切替器接続用ケーブルで接続します。

パソコンの接続

接続の前に



・接続を開始する前に、必ず、接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、電源コードをすべて抜いてください。
 ・パソコンやデバイスの損傷などを防ぐために、すべてのデバイスが正しくインスト

ールされているかどうかを確認してください。

1台で使用する場合 -

カスケード接続をせずに、SW-CPUSV4を1台で使用する場合の接続方法について説明します。1台のSW-CPUSV4に4台までのパソコンを接続することができます。



図2.1 接続図(1台)

接続手順

接続するすべての機器の電源をオフにします。

使用するパソコンにSW-CPUSV4専用ケーブルを接続します。

コンソールポートのコネクタにモニタ・キーボード・マウス、それぞれのケーブルを接続します。(図2.1 参照)

CPUポートのモニタ・キーボード・マウスのコネクタに、使用するパソコンに接続してあるCPU自動切替 器接続用ケーブルを接続します。(図2.1参照)

ACアダプタを使用する場合は、電源コネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタのプラグを電源コン セントに差し込みます。



ACアダプタを使用しない場合、SW-CPUSV4にはキーボードとマウスケーブルを通し て電源が供給されます。ただし、使用するパソコンから5Vに満たない3.3Vの電源しか 供給されないときは、ACアダプタで外部電源を供給する必要があります。

接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。



ACアダプタを使用する場合は、パソコンの電源をオンにする前にACアダプタを SW-CPUSV4に接続してください。

パソコンの接続(続き)

カスケード(2段階)接続する場合

1台のSW-CPUSV4に他のSW-CPUSV4を2段階でカスケード接続した場合、最大16台までのパソコンを接続することができます。

16台のパソコンを接続する場合は、図2.2のように1段目SW-CPUSV4(A)の1~4ポートに、他の SW-CPUSV4(B~E)を接続します。次にそれぞれのSW-CPUSV4(B~E)にパソコンを4台ずつ接続 します。



図2.2 カスケード(2段階)接続16台の例

カスケード接続には、サンワサプライ製CPU自動切替器SW-CPU8(8ポート)を使用することも可能です。 この場合、接続できるパソコンの数も大幅に増加できますので、ご利用環境に合わせてご購入ください。



パソコンの接続(続き)

カスケード(2段階)接続:パソコン7台の接続例



接続するすべての機器の電源をオフにします。1段階目でACアダプタを使用している場合は、電源コネ

1段階目のCPUポート(1~4のいずれか)と、2段階目のコンソールポートをCPU自動切替器接続ケー

2段階目の電源コネクタそれぞれにACアダプタを接続し、ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続

1段階目の電源コネクタそれぞれにACアダプタを接続し、ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続

パソコンの接続(続き)

カスケード(3段階)接続する場合

SW-CPUSV4は3段階までのカスケード接続が可能です。たとえば、図2.4のように1段階目のSW-CPUSV4(A)の1~4ポートに他のSW-CPUSV4(B~E)を接続します。 次に2段階目のSW-CPUSV4(B~E)に他のSW-CPUSV4(F~U)を接続した場合、最大64台までのパソコンを接続することができます。(使用するSW-CPUSV4は21台になります。)



図2.4 カスケード(3段階)接続64台の例

カスケード接続には、サンワサプライ製CPU自動切替器SW-CPU8(8ポート)を使用することも可能です。 この場合、接続できるパソコンの数も大幅に増加できますので、ご利用環境に合わせてご購入ください。



カスケード接続をする場合はサンワサプライ製のSW-CPUSV4、SW-CPU8(8ポート) を使用してください。異なったメーカーの機器を使用すると、ホットキーやOSDによる CPUポート切り替えが行えません。



ブルで接続します。

接続手順

します。

します。

クタからプラグをはずしてください。

カスケード接続では、必ず、下記の順序で電源をオンにしてください。 1)2段階目のSW-CPUSV4の電源をオンにします。

2)1段階目のSW-CPUSV4の電源をオンにします。

2段階目で使用するパソコンにSW-CPUSV4専用ケーブルを接続します。

2段階目のCPUポートそれぞれに、パソコンを接続します。

接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。

3)すべてのSW-CPUSV4の電源がオンになってから、各パソコンの電源をオンにします。

7

カスケード(3段階)接続:パソコン10台の接続例



接続手順

接続するすべての機器の電源をオフにします。1段階目、2段階目でACアダプタを使用している場合は、 電源コネクタからプラグをはずしてください。

2段階目、3段階目で使用するパソコンにSW-CPUSV4専用ケーブルを接続します。

1段階目のCPUポート(1~4のいずれか)と、2段階目のコンソールポート、2段階目のCPUポート(1~4のいずれか)と、3段階目のコンソールポートをCPU自動切替器接続ケーブルで接続します。 2段階目、3段階目のCPUポートそれぞれに、パソコンを接続します。

3段階目の電源コネクタそれぞれにACアダプタを接続し、ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続します。

2段階目の電源コネクタそれぞれにACアダプタを接続し、ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続します。

1段階目の電源コネクタそれぞれにACアダプタを接続し、ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続します。

接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。

▲ 注意

3段階のカスケード接続では、必ず、下記の順序で電源をオンにしてください。 1)3段階目のSW-CPUSV4の電源をオンにします。

2)2段階目のSW-CPUSV4の電源をオンにします。

4)すべてのSW-CPUSV4の電源がオンになってから、各パソコンの電源をオンにします。

パソコンの接続(続き)

ホットプラグについて

SW-CPUSV4はホットプラグに対応しています。モニタ・キーボード・マウスの取外しや追加の際、 SW-CPUSV4の電源をオフすることなく、CPUポートからケーブルを抜き差しできます。 ホットプラグを正しく作動させるには、下記のような点に注意してください。

[コンソールポートのホットプラグ]

コンソールポートからマウスを外して、再度同じマウスを接続する場合、そのまま同じマウスを使用することができます。

コンソールポートからマウスを外して、別のマウスを接続する場合は、下記の作業が必要になります。

すべてのSW-CPUSV4とパソコンを10秒間シャットダウンさせます。 すべてのSW-CPUSV4とパソコンを再起動します。 下記の「電源のオン/オフについて」を併せて参照してください。



ホットプラグ後など、マウスやキーボードが正しく反応しなくなった場合は、1段階目の SW-CPUSV4のポートセレクトボタンの1と2を同時に3秒間押し続け、キーボードとマ ウスをリセットしてください。

[パソコンのホットプラグ]

CPUポートからケーブルを抜いて差し直す場合は、抜く前と同じポートにケーブルを差し込みます。 マウスケーブルはキーボードケーブルより先に差し込みます。

ケーブルを再度差し込んだ後、1段階目のSW-CPUSV4をリセットする必要があります。この場合、本体のリセットボタンを押してください。

電源のオン/オフについて

1台のSW-CPUSV4の電源をオフにする必要がある場合は、以下の手順に従ってください。 1段階目のSW-CPUSV4に接続されたすべてのパソコンの電源をオフにします。次にカスケード接続 されているすべてのSW-CPUSV4とパソコンの電源をオフにします。



キーボードで電源オンになる機能を持つパソコンの場合は、電源コードをすべて抜いてく ださい。抜かない場合、SW-CPUSV4にはパソコンから電源が供給されます。

10秒間待機後、カスケード接続された最後の段階のSW-CPUSV4から電源をオフにしたときと同じ順序でSW-CPUSV4の電源をオンにしていきます。

すべてのSW-CPUSV4の電源をオンにした後、カスケード接続された最後の段階のパソコンから電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。



パソコン(CPUポート)の切り替え方

ポートを指定してパソコンを切り替えるには、「手動切替」「ホットキー」「OSD(オンスクリーンディスプレイ)」 という3つの方法があります。

ポートID番号について

CPUポートには、ポートID番号が決められています。ホットキーやOSDメインメニューでは、ポートID番号を指定し、どの段階に接続されているパソコンでも切り替えることができます。

ポートID番号は、次のようにカスケード接続の段階によって最大三桁の数字で表されます。SW-CPUSV4 が1台で使用されている場合は一桁、2段階のカスケード接続の場合は二桁、3段階のカスケード接続の場 合は三桁になります。また、各桁の1~4の数字はCPUポートの番号です。

[ポートID番号が三桁の例]



3段階目のCPUポート

SW-CPUSV4が1台の場合 例:ポートID番号「3」



カスケード接続(2段階)の場合 例:ポートID番号「32」



カスケード接続(3段階)の場合 例:ポートID番号「321」



パソコン(CPUポート)の切り替え方(続き)

手動での切り換え

正面にあるポート切り替えボタンを押してパソコンを切り替える方法です。

切り替えたいパソコンが接続されたポート切り替えボタンを押します。ポート用ランプ(下)が緑色で点灯 します。



カスケード接続で、2段階目、3段階目のパソコンに切り替える場合は各段階の切り替え ボタンを押してください。1段階目のポートは切り替える必要がありません。

ホットキーでの切り換え

ホットキーは、キーボードで順に[Ctrl] [Alt] [Shift]キーと押した後、ポートID番号を指定してパソコンを切り替える方法です。手順は以下のようになります。

ポートID番号の見方については、16ページ「ポートID番号について」を参照してください。

SW-CPUSV4が1台の場合 例:ポートID番号「3」 [Ctrl] [Alt] [Shift] 3 [Enter]

カスケード接続(2段階)の場合 例:ポートID番号「32」 [Ctrl] [Alt] [Shift] 3 2 [Enter]

カスケード接続(3段階)の場合 例:ポートID番号「321」 [Ctrl] [Alt] [Shift] 3 2 1 [Enter]



OSD**での切り替え** 次ページ「OSDでの切り替え」で詳しく説明しています。

OSD**での切り替え**

OSD(オンスクリーンディスプレイ)は、画面のメニュー操作によりパソコンを切り替えるためのインタフェースです。カスケード接続により、パソコンの台数が多くなった場合などに便利な機能です。

OSDメインメニュー画面の表示

下記の手順でOSDメインメニュー画面を表示します。 [Ctrl]キーを2回押します。



・[Ctrl]キーは、左右どちらか、同じ側のキーを押してください。 ・ホットキーを[ScrollLock]キーに変更している場合は、[ScrollLock]キーを2回押し てください。 参照 17ページ「[F6]SET」

下記のようなメニュー画面が表示されます。

LIST:A	LL				
PN	QI	U PC	NAME		
1		+	DB SERI	JER	
2		+	SMTP S	ERVER	1
3		+	POP SEF	RUER	
4		+	MAIL SI	ERVER	
					+
F1	F2	F3	F4	F5	F 6
GOTO	SCAN	LIST	QV	EDIT	SET

[メニューの見方]

ΡN

ポートID番号を示します。

QV

参照 11ページ「ポートID番号について」

QV

クイックビュースキャンの対象となるポートをマークで示します。

РС

接続されているパソコンが電源オンであることを+マークで示します。

NAME

CPUポートに名前が設定されている場合、その名前を表示します。

参照 17ページ「[F5]EDIT」

OSD**での切り替え(続き)**

ファンクションキー

各ファンクションキーを押すと、サブメニューを使ってポートの切り替えやスキャン、設定の変更などをすることができます。詳しくは各ファンクションキーの説明を参照してください。

[F1]GOTO

ポートを切り替えるときに選択します。

参照 15ページ「[F1]GOTO」

[F2]SCAN クイックビュースキャンでポートを切り替えるときに選択します。

参照 15ページ「[F2]SCAN」 [F3]LIST

クイックビュースキャンの検索条件を設定するときに選択します。

参照 16ページ「[F3]LIST」

[F4]QV クイックビュースキャンの対象になるポートを設定するときに選択します。

参照 16ページ「[F4]QV」

参照 17ページ「[F5]EDIT」

[F5]EDIT ポートの名前を設定・変更するときに選択します。

[F6]SET

OSDの設定を変更するときに選択します。

参照 17ページ「[F6]SET」

OSD での切り替え(続き)

OSD での基本操作

ポートの切り替えについて

[F1]GOTOによるポートの切り替えと、ハイライトバーを切り替えたいポートに移動して[Enter]を 押すことにより切り替えることができます。またホットキーでも切り替え(12ページ)操作が可能です。

メニューを閉じる

[Esc]キーを押すと、サブメニューを閉じます。メインメニューがアクティブの場合にはOSDを終了します。

画面のスクロール

メインメニュー画面のリストを一行ずつスクロールさせる場合は 車面を1画面ごとにスクロールさせる場合は[PageUp][PageDown]キーを押します。 メインメニュー

[F1]GOTO

[F1]キーを押すと、次の2つうち、いずれかの方法で切り替えるポートを選択することができます。 ポートID番号を指定して切り替え ポートの名前を指定して切り替え

注意

GOTOでは特定の名前を検索してリストに表示することができます。例えば、最初の文字をaと入力すると、名前がaから始まるポートだけを、abと入力するとabで始まるポートだけを表示します。

[F2]SCAN

下記の手順でクイックビュースキャンを使って、切り替えるポートを選択することができます。

[F2]キーを押すとクイックビュースキャンが開始されます。表示されるリストは[F3]LISTで指定されている範囲になります。また、スキャン中の表示時間は[F6]SETで設定されている時間になります。

切り替えたいポートが表示されたら、[空白]キーを押してスキャンを停止します。

切り替えたいポートにハイライトバーを移動して[Enter]キーを押します。

<u>♪</u>注意

・スキャン中はポートID番号の前に[S]マークが表示されます。
 ・空いているポートや接続しているパソコンの電源がオフのポートで、ストップするとモニターのスクリーンには何も表示されず、マウスとキーボードは使用できません。元の状態に戻すには、「ホットキーでの切り替え」の手順で、アクティブなパソコンのポートID番号を指定してください。

OSD**での切り換え(**続き)

[F3]LIST

クイックビュースキャンを実行する際の検索条件を設定することができます。

[F3]キーを押すとサブメニューが表示されます。

ALL パソコンが接続されているすべてのポートID番号や名前を表示します。

QVIEW [F4]QVでクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのみを表示します。

POWERED ON 接続されたパソコンの電源がオンになっているポートのみを表示します。

POWEREDON+QVIEW [F4]QVでクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのうち、パソコンの電源がオ ンになっているポートのみを表示します。

QVIEW+NAME [F4]QVでクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのうち、名前が設定されてい るポートのみを表示します。

NAME 名前が設定されているポートのみを表示します。

サブメニューで設定したい項目を選択し、[Enter]キーを押します。

[F4]QV

下記の手順で、[F2]SCANで実行するクイックビュースキャンの対象となるポートを設定します。

クイックビュースキャンの対象にするポートにハイライトバーを合わせます。

[F4]キーを押します。QV欄に ▶マークがついてクイックビュースキャンの対象であることを示します。 設定を解除するときは、解除するポートにハイライトバーを合わせて[F4]キーを押します。

15

OSD での切り替え(続き)

[F5]EDIT

各ポートに名前を付けておくと、切り替えるパソコンなどを探しやすくなります。以下の手順でポートに名前を設定したり、変更することができます。

名前を設定・変更したいポートにハイライトバーを合わせます。

[F5]キーを押します。

名前を入力、または修正・削除します。ポートの名前に使用できる文字数の最大15文字までで、 下記の文字を使用することができます。

すべてのアルファベット:A - Z すべての数字:0 - 9 記号「 + 」「 - 」「 / 」「 : 」「 .」およびスペース



設定後[Enter]キーを押します。

[F6]SET 下記の手順でOSDの初期設定を変更することができます。

[F6]キーを押します。

サブメニューで変更したい項目を設定します。 ポインタのアイコンは、現在設定中の内容を示しています。

CHANNEL DISPLAY MODE

ポート情報の表示項目を下記から選択します。 ポート番号 + CPUポートの名前(PN + NAME);ポート番号のみ(PN);CPUポートの名前のみ (NAME) 初期設定=ポート番号 + CPUポートの名前

CHANNEL DISPLAY DURATION ポートID番号をCPUのポートを変更してから、どのくらいの間表示するかを設定します。 3秒;常にオン 初期設定=常にオン

OSD**での切り換え(続き**)

CHANNEL DISPLAY POSITION

スクリーン上でのポートIDの表示位置を設定します。矢印、PageUp、PageDown、Home、End、 5(NumLockをオフにしたテンキー)で、ポートID表示の位置を移動し、[Enter]キーを押して位 置を固定後、設定のサブメニューに戻ります。 初期設定=3秒間

SCAN DURATION クイックビュースキャンモードで選択したポートの表示時間を、下記のいずれかで設定します。 3,5,10,15,20,30,40,60秒 初期設定=3秒間

OSD ACTIVATING HOTKEY

OSDのメインメニューを表示するためのホットキーを選択します。[Ctrl] Ctrl]または [ScrollLock] ScrollLock]。 初期設定では[Ctrl]キーの組み合わせになっていますが、この組み合わせでパソコンのプログラム の作動中にコンフリクトを起こす場合は、[ScrollLock]キーを使用するように変更してください。

SET PASSWORD

以下の機能を利用する際、パスワードを設定することができます。 NameListの消去;初期設定値を元に戻す;コンソールのロックまたはアンロック18ページ 「OSD用のパスワードの設定」を合わせて参照してください。

CLEAR THE NAME LIST

リストからすべてのポートの名前を消去します。この場合、確認のメッセージが表示されるので、[Y] キーを入力して[Enter]キーを押すと消去が実行されます。消去中と消去後は、その旨を示すメッ セージが表示されます。

RESTORE DEFAULT VALUES

すべての設定を、ユニットメーカー出荷時の初期設定に戻します。この場合、確認のメッセージが表示されるので、[Y]キーを入力して[Enter]キーを押すと初期設定が実行されます。実行中と実行後は、その旨を示すメッセージが表示されます。

LOCK CONSOLE

コンソールをロック / アンロックします。コンソールをロックすると、現在選択されているモニター のスクリーンのみが表示され、コンソールでの情報入力や他のポートへの切り替えができなくなり ます。

パソコンを切り替えるにはアンロックします。パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。パスワードが設定されていない場合は[Enter]キーを押します。



OSD**用パスワードの設定**

パスワードを設定しておくと、OSDのメインメニューを表示する際にパスワードの入力が必要になります。 OSDの設定でセキュリティを確保したい場合は、パスワードを設定しておくことをおすすめします。パスワ ードは下記の手順で設定します。

[CtrL]キーを2回押して、OSDのメインメニューを表示します。

[F6]キーを押してSET用のサブメニューを表示します。

ハイライトバーをパスワードの設定(Set Password)に合わせ、[Enter]キーを押します。

現在のパスワードを入力して[Enter]を押します。(初期設定は何も入っていません)

新しいパスワードを入力して[Enter]キーを押します。新しいパスワードは8文字以内で、アルファベットと数字を組み合わせてください。(A~Z、0~9)。

確認のため再度新しいパスワードを入力して[Enter]キーを押します。設定が完了すると「SET PASSWORD OK」のメッセージが表示されます。「PASSWORD NOT MATCH」と表示された場合は、入力に間違いがあるため、パスワードを入力し直してください。

\triangle	
注意	

・以前のパスワードを修正・削除する場合は、上記の手順4.で、[Backspace]キーか [Delete]キーでパスワードを削除してください。 ・パスワードを忘れるとOSDの操作ができなくなりますので、パスワードを忘れないよう ご注意ください。

本体の積み重ねやラックへの取り付け

SW-CPUSV4本体を積み重ねたり、ラックに取り付けることができます。

積み重ねについて

SW-CPUSV4本体には、あらかじめ積み重ね用のプラスチックの台座が取り付けられています。上の 台座は凸面、下の台座は凹面の形状をしています。積み重ねる場合は、下に置くSW-CPUSV4の上の 台座と、上に置くSW-CPUSV4の下の台座をかみ合わせて置くようにしてください。

ラックへの取り付けについて

ラックに取り付けるときは、下記の手順で付属のラックマウント取り付け金具を使用します。

始めに積み重ね用の台座をSW-CPUSV4本体から取り外します。この場合、下図に示すネジを外します。



下図を参考にSW-CPUSV4の正面寄りの両側に、ラックマウント取り付け金具をネジで取り付けます。



SW-CPUSV4をラックに収納し、ネジで固定します。 取り付け用ネジは別途ご用意ください。

SW-CPUSV4とパソコンの接続表

以下の表は、SW-CPUSV4の台数と接続できるパソコンの台数を示しています。

SW-CPUSV4(台)	接続可能パソコン(台)
1	~ 4
2	4 ~ 7
3	7~10
4	10~13
5	13~16
6	16~19
7	19~22
8	22~25
9	25~28
10	28~31
11	31~34
12	34~37
13	37~40
1 4	40~43
1 5	43~46
16	46~49
17	49~52
18	52~55
19	55~58
20	58~61
21	61~64

ホットキー一覧表

組み合わせ	結果
[Ctrl] [Ctrl]	OSDメインメニューの表示(初期設定)
[Scroll Lock] [Scroll Lock]	OSDメインメニューの表示 (変更した場合)
[Ctrl] [Alt] [Shift] [ポートID] [Enter]	ポートID番号でのパソコンの切り替え
[Ctrl] [Alt] [Shift] [0] [Enter]	オートスキャンモードの開始

Q&A・トラブルシューティング

- Q1) 異なるOSを搭載したパソコンを共有できますか?
- A1) 共有できます。サンワサプライ製CPU自動切替器は異なるWindowsOS、LinuxOSの混在状況で も正常に動作することを確認しています。
- Q2) パソコンの電源を入れたまま切替はできますか?
- A2) 可能です。サンワサプライ製CPU自動切替器は接続されている全てのポートに対してキーボード・マウス信号をエミュレートしているため、電源がONの状態でポートを切り替えても接続されている 全てのパソコンは常にキーボード・マウスが接続されている状況になります。したがって電源がONの状態でポートを切り替えても問題ありません。
- Q3) ホットキーで使用するキーのカスタマイズは可能ですか?
- A3) できません。切替器内のICにプログラムされていますので変更できません。
- Q4) IBMパソコンでマウスが動作しません。
- A4) パソコン本体のマウスドライバの設定をご確認ください。「IBMマウスドライバ」を使用されている 場合は、正常に動作しない場合があります。ドライバをMicrosoft intelliMouseドライバに変更し てお試しください。
- Q5) マウスポート付きのキーボードにマウスを接続した状態で使用できますか?
- A5) できません。パソコンから出るマウス信号が正常に切替器に到達しないため、動作しない、暴走する などの症状が発生します。
- Q6) 接続されたパソコンを全て同時に起動することはできますか?
- A6) 可能です。サンワサプライ製CPU自動切替器は接続された全てのパソコンにキーボード・マウスの エミュレート信号を送っているので同時に起動しても「接続されている」という情報は全てのパソコ ンで認識され、正常に起動致します。もちろん切替後も通常どおり正常に動作致します。
- Q7) パソコン起動時(再起動時)などにはスイッチが切り替わっていないとダメですか?
- A7) 切り替わっている必要はありません。仮にポート1にセレクトされた状態でポート2を起動しても正常に起動し、切替後も動作致します。
- Q8) OSD機能のロックパスワードを忘れてしまい操作できなくなりました。
- A8) ロックパスワードを忘れてしまった場合、お客様側で解除する方法はございません。切替器のみを弊 社へ輸送していただき、修理扱いとさせて頂きます。また特別な作業が必要となるため修理には数 週間の期間を頂くことがあります。パスワードの取り扱いには十分お気を付けください。
- Q9) 画面がちらつく(にじむ)のですが?
- A9) 切替器モニター間のVGAケーブルは何mでしょうか? VGA信号は非常に劣化しやすいため、できるだけ品質が良く、長さの短いケーブルをご使用ください。

